



# 四国の風景街道通信

四国風景街道協議会

## 【令和6年度 四国風景街道交流会】を開催しました

●と き 2025.2.28 (金) ●ところ 高松サポート合同庁舎 南館1階101会議室 (WEB併用)

### 【概要】

四国風景街道の関係者の交流連携を目的として、令和5年度に引き続き、交流会を開催いたしました。当日は、四国内で活動するパートナーシップの方々や関係者合わせて20名にご参加いただきました。

前半では、今年度から運用を開始した活動表彰制度の令和6年度四国優秀活動賞の表彰（「むれ源平石あかりロード」が受賞）を実施しました。

また、「むれ源平石あかりロード」、「えひめやまなみ燦々風景街道」、「砥部陶街道」、「南いよ風景かいどう」の各ルートの活動状況について、動画等を交えてご紹介いただきました。

後半では、愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 羽鳥 剛史 教授に、ご自身が協議会長をつとめる「南いよ風景かいどう」の活動事例などを交えながら、風景街道の意義や在り方を考えていく上でのヒント、きっかけなどについて、ご講演をいただきました。その後、風景街道の課題などについて、参加者と意見交換を行いました。



【令和6年度活動表彰】  
石あかり実行委員会 岡本委員長（写真右）



【講演「風景街道を考えるヒント」】  
愛媛大学 羽鳥 剛史 教授

### 【講演「風景街道を考えるヒント」】

地域のこれからを考える上で、ハイウェイ（高速道路）の整備だけでなく、バイウェイ（地域道路）を同時に維持していかなければ次世代に国土や地域が継承できない。バイウェイは、人々の交流や暮らしに密接に関わっており、その歴史的経緯や道が果たしてきた役割を紐解き、風景街道のような取り組みを通じて理解することが地域アイデンティティの形成に繋がる。地域の歴史や文化、独自性を有する四国ならではのコンテンツとして「遍路道」があり、南いよ風景かいどうの「トレッキング・ザ・空海あいなん」という活動のロールモデルもあるため、まずは文化行政との連携に向けて、協議の場づくりといったことができれば、風景街道がより盛り上がるきっかけとなる。などについてご講演いただきました。



宇和島市遊子水荷浦の「段畑」



「トレッキング・ザ・空海あいなん」  
における遍路道維持活動

### 【パートナーシップ、関係者による意見交換】

参加者からは、道に関わる人やモノ、出来事等の掘り起こしが道の活かし方、生活感を豊かにすることに繋がる。活動を行う上で高齢化や後継者不足、資金不足などが課題、といった意見が出されました。

これらの意見について、コーディネーターの羽鳥教授からは、地域の道路は地域コミュニティ、歴史文化を継承していく機能があり、まずは自分たちの生活道路にどのような機能があるのかを議論し、活動の方向性を体系的に整理することが重要で、次世代への教育活動やパートナーシップと行政の並走、連携が大事、といった意見が出されました。

活発に意見が出されたことで、とても有意義な意見交換となりました。



参加者による意見交換

お問い合わせ

●四国風景街道協議会事務局

国土交通省 四国地方整備局 道路部 地域道路課内

(TEL) 087-811-8323 (FAX) 087-811-8421 (mail) skr-shikoku-fukeikaido@mlit.go.jp